平成 19 年度 **事務事業マネジメントシート** 作成日 平成 19 年 5 月 2 日作成 点検日 平成 19 年 7 月 3 日作成

	事務事業名	菊池	とばこ販	反克協議会参画	事業	1	□ マニフェスト	·関連	□ 全庁様	黄断課題 関連
	政策名	総働く人々が輝き続けるまちづくり 合03					属部 産業振り	車部	所属課 商	工振興課
	施策名	計 画 1	2 商	工業の振興		所	属係 商工振り		課長名 財活	
	基本事業名	体 3	6 販	売力の強化		担	当者名 中嶋 繁	之	電話番号 248 (内線) 125	3-1115
	予算科目	会計 0 1	款	項 目 事 0 1 0 2	業	注	令根拠			
	事業期間		年度のる	7	単年度繰返 ┗ 開始年		度 ~) 🕒 🤇	艮定複数年度→全 年度		年度)
				リ方、手順、詳 紙				全体計画(期	間限定複数年度の	(TE) (1137
	· 業の内容) 匊池: : 務の内容) 申請:			会への参画によっ	つて、市内だはこ	_販売の促進に奇	r ケ する。	財源 事 業 典	国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他	
								投	一般財源	
(予算の内訳) 負担金(104, 000円) 量 人 正規職員従事人									<u>0</u> 数	
									延べ業務時間 人件費計(B)	0
									ハー貝 (I) ルコスト(A) + (I	
	現状把握の部		≥ 1 ==							
	事務事業の目 手段(主な活動		信				⑤ 活動指標	票 (事務事業の活動量:	を表す指標)数字は	記入しない
	年度実績(18年 他たばこ協議会は						1	名称		単位
/191	四/こ (なこ)が成立い	~ >< 1~ 7	и Ди	104, 000/1			ア協議会力	巾入事業者数		社
19:	年度計画(19年	度に	計画して	(いる主な活動)			<mark> </mark>			
	也たばこ、肥後大 000円)	(津協議	会負担	金 194,000円(菊	池104,000円 月	巴後大津	ウ			
2	対象(誰、何を			るのか) * 人や	自然資源等		⑥ 対象指标	票(対象の大きさを表す	指標)数字は記入し	
旧	西合志地域のたり	ばこ販引	1. 事業所	数			ア・旧西合語	名称 5地域たばこ販	売事業所数	単位 社
							🔰 イ 旧合志は	也域たばこ販売		社
3	意図(この事業	美によっ	って、対	象をどう変える	のか)		ウ ⑦ 成果指	票(対象における意図の	D達成度を表す指標	 数字は記入しない
	入事業者が、協議 上活動により、住			え 売に伴うグッズを よろことができる	得やすくなり、噂	関煙者マナー		名称 ィア活動の回数		単位 回
1.3-	上旧场(1-65 八 上	20	-1.7.F C. IV	10000		_	⇒ 1	17 旧到102回数	•	
4)	結果(どんな約	吉果に絹	結び付(ナるのか)			ウ 8上位成集	と指標(結果の達成度	を表す指標)数字に	iii は記入しない
	営基盤が確立し							名称		単位
								· 艺業年間商品販	.冗領	円
(2)	総事業費・指	描竿の	 #49				゚ヷ			
(2)	心尹木貝 1日1	示·寸 ∪ ノ	単位	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22 年度
Н	□□□ 国庫支	出金	千円	(実績)	(実績)	(実績)	(見込)	(目標)	(目標)	(最終目標)
	事源	支出金	千円 千円							
拉	未 円 その	他	千円							
入	事業費計	讨 源	千円	0	0	104 104	194 194	194 194	19 19	
量	人 正規職員従	事人数	人	U	U	1	1	1		1 1
	件延べ業務費人件費計		時間 千円	0	0	50 199	50 199	50 199	5 19	
Ш	トータルコスト(ル		千円	0	0	303	393	393	39	3 393
	活動指標	アイ	社			210	210	210	21	210
	/山 均) 口 (小	<u>イ</u> ウ								
	対象指標	<u>ア</u> イ	<u>社</u> 社			30 25	30 25	30 25		30 30 25 25
	V.1 SO-111 INK	ゥ				20	-	-		
	成果指標	<u>ア</u> イ	回			2	2	2		2 2
_		<u>イ</u> ウ	т							
	上位成果指標	<u>ア</u>	円							
1		불								

合志市

	1 32 1 515 4	
(2	3) 事務事業の環境変化・住民意見	
1		ナは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
健	②事務事業を取り巻く状況(対象者 康増進法の制定施行に伴い喫煙場所 康ブームによる禁煙者の増加。	音や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 近の減少及び喫煙マナーの強化。
		主民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? こ販売協議会が違っていたが合併後も上部所属協議会の統一が図られていない。
2	評価の部(SEE)*原則は事後記 ①政策体系との整合性	平価、ただし複数年度事業は途中評価 □ 見直し余地がある →【理由】 → ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映
目的妥当性評価		
	② 公共関ラの安当性 なぜこの事業を市が行わなければ ならないのか?税金を投入して、達	□ 見直し余地がある ⇒【理由】 →3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☑ 妥当である ⇒【理由】 → たばこ販売事業は市町村税と直接的関係があり妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性	 見直し余地がある ⇒【理由】 ⇒3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☑ 適切である ⇒【理由】 ⇒ 対象となる団体は特定のものであり適切である。
有効性評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準と の差異はないか?何が原因で成果 向上が期待できないのか?	□ 向上余地がある ⇒【理由】 →3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 □ 向上余地がない ⇒【理由】
	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	 ▶響無 ⇒【理由】 ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 □ 影響有 ⇒【その内容】 ⇒ 上部団体の財源が潤沢である。
ΊШ	⑥ 類似事業との統廃合・連携	□ 他に手段がある 🦜 (具体的な手段, 事務事業)
	の可能性 目的を達成するには、この事務事業 以外他に方法はないか?類似事業 との統廃合ができるか?類似事業と の連携を図ることにより、成果の向 上が期待できるか?	□ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 つ合併前の旧二町がそれぞれ別々の上部協議会に所属しているため。
効率性評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住 民の協力など)	他に手段がない ⇒【理由】 → 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 削減余地がない ⇒【理由】 → 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 削減余地がない ⇒【理由】 → 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 合併前の旧二町がそれぞれ別々の上部協議会に所属しているため二箇所に負担金を支出している。
	3 8 人件費(延べ業務時間)の削減余地	 ▼ 削減余地がある ⇒【理由】 ⇒3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 □ 削減余地がない ⇒【理由】 ⇒ 合併前の旧二町がそれぞれ別々の上部協議会に所属しているため二箇所に負担金を支出している。
公平性評価	1 11 示地 事業の内容が一部の受益者に偏っ ていて不公平ではないか?受益者 毎年が公平・公正になっているか?	 見直し余地がある ⇒【理由】 →3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☆ 公平・公正である ⇒【理由】 → たばご消費税は確実に納入でき不特定多数の人々に還元できるので、公平・公正である。

事務事業名	菊池たばこ販売協議会	冷画事業	所属部	産業振興部	所属課	商工振興課
	と今後の方向性(次年度	E計画と予算への反映				
(1) 1次評価者として	の評価結果		(2) 全体総括(振り返り、 健康増進法の施行に		型場所の減少や喫煙マナーの
① 目的妥当性	遂 適切	□ 見直し余地あり)	強化が進んでいる。		での販売が増えているので、自
② 有効性	□ 適切	☑ 見直し余地あり	\ \bar{\bar{\bar{\bar{\bar{\bar{\bar{	動販売機設置事業所	の所在均	也が市外の場合地元税収になり 見込み2億5千万程度)
③ 効率性	□ 適切	☑ 見直し余地あり)	上部団体の財源が潤	沢である	
④ 公平性	☑ 適切	□ 見直し余地あり)	るため。 合併前の旧二町がそ	れぞれ別	J々の上部協議会に所属してい
(2) 会後の恵業の士	向性(改革改善案)····	· 与 */- `		るため二箇所に負担		している。合併前の旧二町がそ (4) 改革・改善による期待成果
□ 廃止 □ 休止			□ 事業(のやり方改善(有効性改善		発止·休止の場合は記入不要)
□ 事業のやり方改善(きのやり方改善(公平性	改善)			コスト 判決し併せし増加
	「で特に改革改善をしない) こより喫煙場所が減少し ^っ					・・・・・ 削減 維持 増加
たばこ消費税の財源	確保のためには小売団		るが、両	者の兼ね合いを検討す	する必	上
要もある。						成維 O ×
						低し、、
						下
	見する上で解決すべき課	題(壁)とその解決策	Ę			
早期に上部協議会	の統一をはかる。					
4 事務事業の2次						
(1) 1次評価結果の名	S観性と出来具合 評価の記述内容を読ん	だ段階で選択)				
□ 記述不足で	ぎわかりにくい	721214 (2217)				
│ □ □ 一部記述不 □ 記述は十分	「足のところがある ♪たされ <i>て</i> いる					
	水準(2次評価を行った行 いており評価が偏ってい			百が認識され <i>てた</i> い)		
□ 一部に客観	性を欠いたところがある	3				
< 客観的な評(2) 2次評価者として。	「価となっている(事務事 の評価結里	業の問題点、課題が		ιている) :)評価結果の根拠とヨ	里由	
	_				ΣЩ	
① 目的妥当性		□ 見直し余地あり				
②有効性	□ 適切 -	□ 見直し余地あり	⇔			
③ 効率性	□適切	□ 見直し余地あり				
④ 公平性	□ 適切	□ 見直し余地あり)			
(4) 今後の事業の方 □ 廃止 □ 休止	向性(改革改善案)・・・ □ 目的再設定 『	复数選択可 ̄ 事業統廢合•連携	□ 事業(のやり方改善(有効性改善		(5) 改革・改善による期待成果 廃止・休止の場合は記入不要)
	(効率性改善) ■ 事業					*•. コスト
□ 現状維持(従来通り	で特に改革改善をしない)					│ │ │ │ │ │ │ │ │ │ │ │ │ │ │ │ │ │ │
						成維 果持
						低
						下 × ×
(6) その他2次評価会	★議で指摘された事項					
1						